



つくば機能植物イノベーション研究センター 形質転換植物デザイン研究拠点 研究セミナー（71）

日時：2022年11月17日(木) 17:00 -

場所：Zoom オンラインで実施

Zoom ミーティングに参加するには以下へ

<https://us02web.zoom.us/j/85989407091?pwd=N3Zybm81MmVkc2F2VzdLdGkzNWWhlUT09>

ミーティング ID: 859 8940 7091

パスコード: 462362

植物個体を直接ゲノム編集する iPB 技術の開発

今井 亮三

農研機構 生物機能利用研究部門 エグゼクティブリサーチャー
筑波大学 生命環境系 教授

従来の植物ゲノム編集ではアグロバクテリウムによる形質転換と組織培養からの植物体再分化の工程が必要で、ゲノム編集技術を適用可能な作物種が限られていた。農研機構はこのボトルネックを解消するため生殖系列細胞がある茎頂組織に直接ゲノム編集酵素 CRISPR/Cas9 を到達させる iPB (in Planta Bonbardment)法をカネカ社と共同で開発し、これまでゲノム編集が困難だった作物種や様々な実用品種にも適用でき、しかも DNA を使用しないゲノム編集技術の確立に成功している。iPB 法開発の過程とその利用の現状について紹介する。

世話人：つくば機能植物イノベーション研究センター・柴